

講師プロフィール

佐竹 弘靖

(所属)

専修大学ネットワーク情報学部 教授

専修大学スポーツ研究所 所長

(経歴)

1960年 福岡県北九州市生まれ

1988年 筑波大学大学院修士課程体育研究科 修了

1993年 専修大学経営学部助教授に就任し、現在ネットワーク情報学部教授

(専攻)

スポーツ人類学、スポーツ史、コーチング論 (水泳)

齋藤 実

さいとう・まこと／昭和45年静岡県生まれ、49歳。静岡県立榛原高校から筑波大学に進み、筑波大学大学院修士課程修了。茨城県立医療大学理学療法学科助手、大妻女子大学人間生活科学研究所助手、国立スポーツ科学センター研究員(スポーツ情報研究部)を経て、現在専修大学文学部ジャーナリズム学科教授(「現代社会とスポーツ」「スポーツ医学概論」「コンディショニングの科学」などを担当)。平成15年から全日本剣道連盟の強化訓練講習会、剣道選抜特別訓練講習会でトレーニングコーチを務め、現在に至る。第12回、13回世界剣道選手権大会において日本代表チームにトレーニングコーチとして帯同し世界一に貢献。日本トレーニング指導者協会上級トレーニング指導者(JATI-AATI)、日本オリンピック委員会強化スタッフ、全日本剣道連盟医科学委員会委員など。剣道錬士七段。

専修大学では、剣道部部长として全日本学生剣道選手権大会準優勝(平成29年)、全日本学生剣道優勝大会3位(平成22、23年)などに導く。

著書、「強くなるための剣道コンディショニング&トレーニング」、「仕事で忙しい人のための剣道トレーニング」(体育とスポーツ出版社)、「スポーツ損傷予防と競技復帰のためのコンディショニング技術ガイド」(臨床スポーツ医学)、「ナショナルチームドクター・トレーナーが書いた種目別スポーツ障害の診療」(南江堂)など。

山口 絵里加

美コア考案者。ReebokONE グランドアンバサダー。株式会社ライフストリームジャパン代表取締役。一般社団法人生活習慣改善推進協会理事。

1988年佐賀県生まれ。スポーツ専門学校へ通いながら福岡市内の有名トレーナーに弟子入り。スポーツトレーナーとして活動しながら2014年、体温上昇と代謝アップを促す独自のメソッド「美コア」トレーニングを考案。日本全国や海外でもレッスンを開催し数々のメディアにも取り上げられ、綺麗に健康に引き締まるダイエットメソッドとして現在は東京都内だけで月に1万3000人以上が受講する人気プログラムとなり、4月には麻布十番に美コア東京スタジオをOPENした。多くのアスリートやモデル、タレントからも支持されており著書発売中『美コア細くて強い美ボディメイク』(文藝春秋)、『美コア食トレーニング 体温を上げてやせる・引き締める・きれいになる』(主婦と生活社)『スクワットだけで美しくやせる』(青春出版)。

美コア東京スタジオ <http://bicore-azabu.com/>

藤原 和朗

(経歴)

昭和46年(1971年)生まれ

早稲田大学人間科学部スポーツ科卒業

花田学園日本鍼灸理療専門学校本科卒業

明治生命ラグビー部アスレティック・トレーナー(2000~2002)

(有)トライ・ワークス(2008~2018)

ラグビー日本代表アスレティック・トレーナー(2009~2011)

ラグビーワールドカップ ニュージーランド大会に帯同

ラグビーU20 日本代表アスレティック・トレーナー(2012)

ラグビーU19 日本代表アスレティック・トレーナー(2012)

ATR 半蔵門メディカルディレクター(2012~2018)

(資格)

日本体育協会公認アスレティック・トレーナー(JASA-AT)

鍼灸あん摩マッサージ指圧師

L. S. F. A. (Life Supporting First Aid) 認定インストラクター

※CPR&AED、First Aid インストラクター

阿部 郁子

Doctor of Chiropractic (アメリカ国家臨床資格)

アドバンス・ヘルスケア・センター あべいくこカイロプラクティックにて臨床

翻訳・通訳 (解剖実習や学会での通訳、医療情報や教育のための翻訳)

アクティブリリーステクニック® (ART®) プロバイダー

グラストン・テクニック® (Graston®) プロバイダー

リハビリテーション Prague School to Athletic Development (PS2AD) コース A・B 修了

西オーストラリア州立マードック大学 (日本校) 講師 (2008-2010)

Southern California University of Health Sciences (カリフォルニア州ロサンゼルス)

Doctor of Chiropractic 学位、卒業 (2004)、カリフォルニア州開業資格取得 (2004)

インターン: 同大学附属クリニック

カリフォルニア州立大学附属総合クリニック・リハビリテーションセンター

ロサンゼルス小児脳障害センター

Yuki Uchida D.C.クリニック

ボランティア活動: IRONMAN Japan にて ART 施術提供

南米の非営利団体「コラソン」の活動に参加し、メキシコにて医療提供

カリフォルニア州「AIDS LifeCycle」メディカルチーム

カリフォルニア州「San Diego Breast Cancer Walk」メディカルチーム

出版物:

全訳: Patric Michael Leahy 著『アクティブ・リリース・テクニック 神経走行経路における神経絞扼のための軟部組織マネジメント・システム』 Active Release

Techniques, LLC; 2017.

全訳: Patric Michael Leahy 著『アクティブ・リリース・テクニック 脊椎の軟部組織マネジメント・システム 第2版』 Active Release Techniques, LLC; 2008.

全訳: Patric Michael Leahy 著『アクティブ・リリース・テクニック 上肢の軟部組織マネジメント・システム 第2版』 Active Release Techniques, LLC; 2008.

全訳: Patric Michael Leahy 著『アクティブ・リリース・テクニック 下肢の軟部組織マネジメント・システム 第2版』 Active Release Techniques, LLC; 2008.

共訳: Bougie JD, Morgenthal AP 著『エイジング・ボディ: 老化と神経筋骨格障害』 (共訳) エンタプライズ; 2004.

論文：『高齢者の筋減少症（Sarcopenia）に対するトレーニングとその予防効果』「季刊マニピュレーション」No.72、エンタプライズ；2004.

論文：『ムチ打ち関連障害 WAD に対するカイロプラクティックによるアプローチ』「季刊マニピュレーション」No.76、エンタプライズ；2005.

池田 奨

2012年パーマーカイロプラクティック大学卒業、2014年アメリカカイロプラクティック神経学会の認定取得。2012年より6年間ヒューストン神経カイロプラクティックに勤務した後、2018年帰国し、札幌市にて機能神経カイロプラクティックを開業し、現在に至る。

池上 周

（経歴）

昭和54年3月 大阪理療専門学校卒業

4月 あんま・マッサージ・指圧師資格取得

4月 明治鍼灸柔道整復専門学校鍼灸科入学

6月 [阪急東ハリ治療所] 勤務

昭和56年8月 明治鍼灸柔道整復専門学校鍼灸科卒業

9月 鍼師・灸師資格取得

10月 [SHBハリ専科] に改名し、大阪駅前第一ビルへ移転

昭和59年1月 [SHB東洋医学総合センター]改名開設

現在に至る

（現役職）

SHB東洋医学総合センター 院長

A&I臨床セミナー 代表、講師

平成医療学園専門学校 キネシオテーピングゼミ 講師

TBMA 代表

日本カイロプラクティック徒手医学会 会員

元キネシオテーピング協会 本部指導員

松島 雅美

Je respire 株式会社 代表取締役。

一般社団法人国際メンタルビジョントレーニング協会 代表理事。

京都女子大学大学院修了。臨床心理士。公認心理師。

阪神淡路大震災時に開設された「兵庫県精神保健協会こころケアセンター」にて被災者の PTSD・トラウマケアに携わる。その後、精神神経科クリニックで、うつ、摂食障害、パニック障害などのケア、教育機関においては子どもの発達、子育て、教育スタッフへの支援を行う。のべ2万人以上をカウンセリング。

日本における「心を扱うこと」への誤解を解き、心理学を科学的に理解し、日常的に活用していただける仕組みを作り、心身ともに健康な人を増やしたいという思いから、「方法や結果の見える心理学」プログラムを開発・提供しています。

現在の主な活動

- ・日本で初めての視覚とメンタル機能を同時に鍛えるプログラム「メンタルビジョントレーニング」を構築し、プロ野球選手、フェンシング日本代表選手などへの直接指導と並行してインストラクター資格認定講座を開催。

- ・アプリ開発

- ・学校や企業での研修・講演

河合 智則

D.C. , M.S. , I.C.S.S.D. , C.C.S.P. ,

アメリカ合衆国認定 ドクターオブカイロプラクティック

スポーツ科学、リハビリテーション修士

カリフォルニア州認定 ドクターオブカイロプラクティック

国際スポーツカイロプラクティック医師

米国スポーツカイロプラクティック医師

K-MAP Chiropractic and Sports Therapy 代表

元 国立大工学部研究生 健康材料寄付講座 細胞生物学、遺伝子学、生化学

現 私立大学医学部 博士後期課程

スポーツ障害(肉離れ)、結合組織、神経伝導

現在プロ野球選手、Jリーガー、幕内力士、オリンピック選手などトップアスリートのケアに従事しながらスポーツ障害の研究を中心に活動をしている。

榊原 直樹

DC, DACBSP, CSCS, PhD

日本パワーリフティング協会オフィシャルスポーツドクター

(経歴)

- 1992 東北大学卒業 (動物遺伝育種学研究室)
- 1997 クリーブランドカイロプラクティックカレッジ卒業 (アメリカ、ロサンゼルス)
- 1998 ドクターオブカイロプラクティック (Doctor of Chiropractic) 免許取得
(カリフォルニア州)
- 2005 CSCS (ストレングス&コンディショニング専門家) 取得
- 2008 DACBSP (スポーツカイロプラクティック学位) 取得
- 2013 岐阜大学大学院医学系研究科スポーツ医科学研究室
- 2015 岐阜大学大学院医学系研究科非常勤講師
- 2017 日本スポーツ徒手医学協会設立
(スポーツイベント帯同歴)
- 2006 冬季オリンピック帯同ドクター (イタリア、トリノ)
- 2009 ワールドゲームズ帯同ドクター (台湾)
- 2011 世界ベンチプレス選手権大会日本代表チームドクター (オーストリア)
- 2011 世界パワーリフティング選手権大会日本代表チームドクター (チェコ)
- 2012 世界パワーリフティング選手権大会日本代表チームドクター (プエルトリコ)

近藤 衣美

独立行政法人日本スポーツ振興センター国立スポーツ科学センター

スポーツメディカルセンター

(経歴)

- 2006年 神戸学院大学栄養学部栄養学科卒業
- 2008年 大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科博士前期課程修了
- 2008年～2010年 大阪体育大学大学院 助手
- 2010年～2015年 国立スポーツ科学センター 契約研究員
- 2015年～2018年 大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科博士後期課程
- 2016年～2017年 国立健康・栄養研究所 技術補助員
- 2017年～ 国立スポーツ科学センター 契約研究員

後藤 雅博

昭和38年9月9日生 帯広市出身

(学歴)

- ・北海道大学医学部附属診療放射線技師学校
(現 北海道大学医学部保健学科放射線技術科学専攻) 卒業
- ・ニューヨーク州立大学卒業 理学士 取得
- ・米国アイオワ州 パーマー カイロプラクティック大学 卒業
ドクター・オブ・カイロプラクティック(D.C.) 取得

(資格)

診療放射線技師免許

米国政府公認 カイロプラクティック国家試験 合格

米国カリフォルニア州 カイロプラクティック 就業免許

オーストラリア カイロプラクティック 就業免許

CCSP (Certified Chiropractic Sports Practitioner) 取得

FMS (ファンクショナル・ムーブメント・システムズ) メンターシップ (指導者) プ
ログラム修了

グラストン・テクニク 認定クリニシャン 取得

ICCSP (Internationally Certified Chiropractic Sports Practitioner) 取得

MAT (Movement Assessment Technologies) Level 1, Level 2 修了

(職歴)

1990年 米国ミシガン州イーストデトロイト市 イースト デトロイト カイロプラク
ティック クリニック にてインターン研修

1991年7月 後藤カイロプラクティックオフィス 就職

2016年8月 リオデジャネイロ・オリンピック組織委員会 公式医療スタッフ

(役職)

2004年7月 後藤カイロプラクティックオフィス 院長

2017年4月 日本統合医療学会 100人委員会 委員

2019年3月 日本統合医療学会 北海道 東北ブロック 副会長

(所属)

米国カイロプラクティック協会

日本統合医療学会

国際スポーツカイロプラクティック連盟

吉澤 公二

DC、DACNB、FIBFN-CND、DIBAK

1997年より2017年まで米国ニューポートビーチにて開業。

2007年にDACNB認定、その後小児発達障害治療を専門的に開始。

2018年に日本に帰国し、小児発達障害セミナー、往診などを行っている。

現在脳バランス療法センター開業の準備中。

大室 泰三

株式会社 Kinetikos・Somatic Systems 株式会社所属

公認ロルファー®

NSCA-CSCS

筑波大学体育専門学群在籍中はバスケットボール部に所属し、全国大会で優勝を経験。膝の損傷の回復の過程でロルフィングに出会い、傷害予防やパフォーマンス向上におけるボディワークの可能性を感じ、卒業後渡米。2009年トレーニングを修了し、公認ロルファーとなる。2012年ソマティックシステムズ株式会社に入職。国内外の著名なトレーナーやストレングスコーチに直接指導を受ける機会を得て、徒手的なアプローチだけでなく、運動やエクササイズを通してよりアクティブにクライアントのQOL向上・パフォーマンスアップに寄与できることに感銘を受ける。現在は港区白金台にある Kinetikos Lab にて、パーソナルトレーニングやロルフィングのセッションを提供する傍ら、DVRT やオーストラリア ファンクショナルトレーニングインスティテュート (FTI) のトレーニングシステムのコース指導や全国大会出場するバスケットボールチームのトレーニング指導を行っている。

近江 顕一

東京都出身。早稲田大学スポーツ科学部在学中にアスレティックトレーナーになることを目指す中で、スポーツ現場におけるカイロプラクティックケアに興味を持ち、卒業後に渡米。ジョージア州にあるライフ大学へ入学し、ドクターオブカイロプラクティックとスポーツ科学修士を取得。2018年に東京都立川市で「運動好きな人」・「健康寿命を延ばしたいアクティブな人」のサポートと地元多摩地区への地域貢献・活性を目的に OUMI スポーツカイロプラクティックを開院する。スポーツカイロプラクター (CCSP・ICSSP)